

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 白鳥 聡

NO. 4 令和4年12月16日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

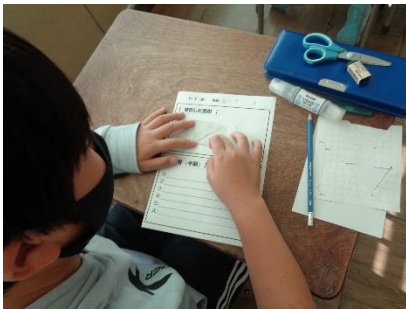
5年 算数 「面積の求め方を考えよう」 11月7日(月)

5年生は算数の「面積の求め方を考えよう」の三角形の面積をどう求めるかを考える授業を行いました。三角形を、面積を求めることのできる既習図形（長方形や平行四辺形など）に様々に変形することで、面積を計算で求めることができました。考えついた方法を、友達同士伝え合って学習を深めました。

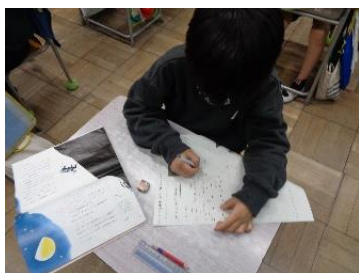
意見交換に Google jamboard を活用し、発言しやすい環境づくりを心掛けました。その結果として、「友達の意見をすぐに知れることがよい」や「分からないと言いやすい」「他の人を気にせずに発言できる」などの感想が上がり、意見交流に意欲的に取り組む児童が増えました。

課題点は、活動作業が多く自力解決の時間と話し合いの活動時間が少なくなったことです。

今後、話し合いの時間を大切に、全体での活動で伝え合う児童が増えるような授業を行っていきます。



3年3組 国語 「もちもちの木」 12月1日(木)



3年生は「モチモチの木」の豆太が家を飛び出し、医者様のところへ向かう場面の授業を行いました。単元を通し、豆太はどんな性格をしているかを「〇〇豆太」の形で表し、話し合ってみていきます。この場面は「勇敢な豆太」「優しい豆太」「怖がり豆太」と様々な意見が出ました。どこの文章から考えたのか発表した後、豆太の性格を豆太メーターとしてグラフ化して表していき、前の場面と比べ豆太がどのように変化したのかを視覚的に確認しました。その後、ロールプレイを行いました。医者様のもとへ行く際にどんなことを言っていたのか考えることを通して、その場面の情景と豆太の心情を具体的に想像させるためです。ロールプレイでは、「怖いけど頑張るね。じさまが死んでしまうほうがもっと怖いから。」という言葉が出てきました。最後に、振り返りとして豆太に言葉を掛ける活動をしました。ここでは、「これまで真夜中は外に出られなかったのに、じさまのために勇気を出して飛び出したんだね。」「怖いよね。足が痛いよね。でもじさまのために頑張って走ってね。」などが挙がり、学習を通して、飛び出した豆太はどんな性格かを想像することができました。これからも友達との話し合いを通じ、物語を具体的に想像できる学習を行っていき、みんなと物語を読むことの楽しさを感じてもらいたいと思います。



